

医薬・化粧品・食品市場向け ドアレス恒温恒湿槽のご提案

医薬・化粧品・食品の温度特性試験に対応

薬品・化粧品の官能評価、粉末清涼飲料の吸湿性評価は外部環境に敏感なので環境制御された試験室で行うことが多く、評価の精度を高めるには槽内の風を抑えて評価スペースを安定させる必要があります。

そこで今回は、皮膚塗布試験の評価、薬品や粉末清涼飲料吸湿性評価、薬品の溶解度の測定などドアレス恒温恒湿槽を活用したものをご提案いたします。

特徴

- 評価スペースの微風状態を実現できます。

作業スペースで粉体を計量しても、風の影響で粉体が舞い上がることなく作業が行えます。
微風な状態を実現できるので自然な使用環境に近い条件を再現できます。

- エアカーテンを搭載しており、槽内の計測器へのアクセスが容易にできます。

扉を開閉する動作がないため、槽内の温湿度変動を最小限に抑えられます。
薬品や粉体の出し入れ作業をしても、エアカーテンが槽内温湿度の乱れを防ぎます。

- 振動が少なく振動に敏感な計測器を槽内に入れて評価することができます。

振動に敏感な天秤や容器の表面硬さを測定する機器などを槽内に入れて使用できます。



試験事例

試験名	試験条件	試験目的
官能評価 (人の感覚による評価) *化粧品市場	+25°C/50%RH (標準) +35°C/80%RH (夏場) 塗布直後、5分後、30分後	・化粧水や乳液などのなじみやすさ、べたつき、香りの変化の確認。 ・温度条件による感覚の違いを確認。(ひんやりする感覚など)
高温耐性試験 *化粧品市場	+80°C (4時間、8時間)	・容器を含んだ化粧水、乳液、クリームの状態(匂い、粘度、容器の外観)などの評価。
官能評価 *香料関連	0°C～+10°C (2～4時間)	・香料の外観変化(白濁、分離など)の確認。
穀物の水分量測定評価	+25°C 50～60°C	・水分量測定機器を槽内に入れて評価。
吸湿試験	+37°C/50%RH +40°C/65%RH	・薬品の吸湿性測定。
溶解度試験	+37°C	・粉末清涼飲料の吸湿性評価。 ・人の体温に近い37°Cで薬の溶けやすさを評価。

ドアレス恒温恒湿 ラインナップ一覧

型式	LST134	LST265	LST234W-PF	LST365W-PF
温度範囲	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C
湿度範囲	成り行き	成り行き	40%RH～80%RH	30%RH～80%RH
槽内寸法 WHD (mm)	796×660×460	1020×770×660	796×660×460	1020×770×660
外形寸法 WHD (mm)	950×1690×1050	1170×1790×1290	950×1690×1050	1170×1790×1290
電気容量	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 40A

*仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

*ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。



エスペックサーマルテックシステム株式会社

本社 住所：埼玉県戸田市美女木東1-2-15
TEL : 048-423-1800 FAX : 048-423-1801

神戸事業所 住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町1-6-6
TEL : 078-856-5181 FAX : 078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。
- あらかじめご了承ください。